

知財経営コンサルティング実践講座（東京）

～コンサルティング事例から、コンサルタントの思考を体験する～

担当 講師	<p>・担当講師</p> <p>第1回 多田 裕司(ただ ゆうじ) 多田国際知財事務所 弁理士</p> <p>第2回 丹羽 匡孝(たんば まさたか) シグマ国際特許事務所 パートナー弁理士</p> <p>第3回 橘 祐史(たちばな ゆうし) 株式会社知財ビジネスリンク 代表取締役／弁理士</p>
実施 日程	<p>第1回:2018年 2月 8日(木) 18:30～21:15 (途中休憩15分) 弁理士会館</p> <p>第2回:2018年 2月22日(木) 18:30～21:15 (途中休憩15分) 弁理士会館</p> <p>第3回:2018年 3月 8日(木) 18:30～21:15 (途中休憩15分) 弁理士会館</p>
受講料	<p>全3回:20,000円(税込・テキスト代込)</p>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 知財経営コンサルティングの活動事例を聞き、クライアント企業の成長のための課題解決に知的財産を活用し、支援を行いたいと考えている方(中小企業支援を目指す弁理士は特に望ましい) ● 企業にお勤めで、企業成長に必要な課題解決に、知的財産を活用することを実践してみようと考えている方 ● 知財経営コンサルタントを目指す弁理士で、クライアント企業の競争戦略の実行等にも関与してサポートしていきたいと考えている方
概要 ねらい	<p>テーマ「企業成長への知的財産の使い方」</p> <p>「知財経営コンサルティング」というと、知的財産に関して変革の提案をしたり、具体的成果を短期間で挙げていくための提案をしなければならないという印象を抱く人も多いのではないのでしょうか。しかし、コンサルティング業務には、従来の弁理士業務の延長線にあるものも多く、クライアントが課題と考えていることも、弁理士が接する機会のあるような具体的な案件が関連していることが数多くあります。</p> <p>また、企業の成長のためには、事業計画、新商品開発、市場開拓、世代交代など、取り組むべき様々な問題があります。知的財産を独占や参入障壁の手段としてのみとらえていると、これらの問題の多くは知的財産とは関連性が薄いと考えてしまいがちです。しかし、幅広い視点で知的財産の使い方を考えることができれば、今まで関連性が薄いと考えていた、これらの問題の解決にも、知的財産を貢献させることができるのです。</p> <p>本講座では、コンサルティング業務を特別なものとする必要はなく、従来業務の延長線で対応できるものも多いことを、知財経営コンサルティングの経験豊富な講師が、実際の活動事例を踏まえて、実践的に解説します。また、企業活動における様々な課題と知的財産との関係性を、視点を変えてみることで、単なる独占や参入障壁の道具としてだけでなく、企業の成長に必要な様々な課題の解決に知的財産を活用できることを感じ取ってもらい、コンサルティング業務に限らず、知的財産の活用の幅を広げられるようになることを目指します。</p>

<p>形式及び内容 (予定)</p>	<p>講義およびグループ討議形式</p> <p>第1回:専権業務以外で弁理士が貢献できる知財活動を考える 講師:多田 裕司氏</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 解決すべき課題の「大きさ」を考える 「新規事業を立ち上げる」といったレベルの課題提案が本当に適切か ② 知的財産の効用を「整理」する 知的財産で「何ができるか」を事前に整理する ③ 活動内容を「具体化」する 課題解決に至る具体的な手順を示せなければ始まらない <p>第2回:クライアント企業の売上の増加を題材とした知財活用 講師:丹羽 匡孝氏</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 売上増加の目標の分解 「クライアント企業の売上の増加」という汎用性のある目標について具体的な対策をイメージできる程度まで分解してみる ② 分解した目標と知的財産 分解した目標から課題を導き、解決に知的財産や知的財産情報などを用いて課題を解決する道筋を考える ③ 自身の引き出しで事例を考える 上記で考えたことを引き出しとして、実際のコンサルティング事例について具体的な提案を考える <p>第3回:知的財産の価値と知財経営コンサルティング 講師:橘 祐史氏</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知的財産の財産的価値 「知的財産の財産的価値の戦略的意味」 ② 知財経営コンサルティングのプロセス 「知財経営コンサルティングの具体的プロセスとは」 ③ 知財経営コンサルティングの実例と知的財産の価値 「知財経営コンサルティングの過程で、知財価値をどのように使うか？」 を具体的なコンサル事例をもとに解説する。
<p>講座の 到達目標</p>	<p>本講座を受講することにより、知財経営コンサルタントの活動事例を学び、知財経営コンサルタントの思考を身につけることを目標とする。</p>
<p>講師 略歴</p>	<div> <div>  </div> <div> <p>◆ 第1回 多田 裕司 氏(多田国際知財事務所・弁理士)</p> <p>「答えはすべてクライアント自身が知っている」と考え、「傾聴」および適切な「言い換え」や「質問」を通して経営課題の解決に資する知的財産の取得・活用を提案している。</p> <p>IP アライアンスメンバー 2006年弁理士登録 日本弁理士会 知的財産経営センター・知財経営コンサル事業本部 副センター長 大阪府出身、大阪教育大学附属平野高校卒業、大阪大学工学部卒業 川崎重工業株式会社にてプラント設計・海外向け技術営業として12年間勤務。 過去の講師経験多数。詳細は多田国際知財事務所のウェブサイト参照 (https://integright.com/)。</p> </div> </div> <div> <div>  </div> <div> <p>◆ 第2回 丹羽 匡孝 氏(シグマ国際特許事務所・パートナー弁理士)</p> <p>権利化業務と共に、経営に知的財産を活かすことができるようにするコンサルティングを提供。クライアント自身が気づききっかけを与え、発想を広げていくことができるようにするコンサルティングを得意としている。</p> <p>IPアライアンスメンバー 2006年弁理士登録 日本弁理士会(知的財産経営センター・知財経営コンサルティング事業本部) 所属 千葉県出身、早稲田高校卒業、東北大学工学部卒業、東北大学大学院機械工学修士号 ダイナボット株式会社(現アボットジャパン株式会社)にて、診断薬・医薬品の製造装置の研究開発等に従事。 過去の講師経験多数。執筆記事等、詳細はウェブサイト参照 (http://www.tamba-pat.com/category/1365642.html)。</p> </div> </div>

講師
略歴



◆ 第3回 橋 祐史 氏(株式会社知財ビジネスリンク・代表取締役／弁理士)

- ・NAV 国際特許商標事務所(MBA／弁理士／所長)
中小企業の知的財産を生かす経営コンサルティングを中心に活動。
 - ・IP アライアンスメンバー
 - ・2010 年弁理士登録
日本弁理士会 (知的財産経営センター・知財経営コンサル事業本部) 所属
 - ・福岡県出身、東京大学(法学部)卒業、筑波大学大学院(経営学修士)
筑波大学大学院(法学部)法学修士、博士課程単位取得満期退学
 - ・旭化成(経営企画部)において、繊維事業及び石油化学樹脂事業の事業企画を担当し、事業再編事業などを担当する。海外 J/V の立ち上げ、関係会社の CI 活動に携わる。
 - ・著書「設備投資タイミングの最適化に関する研究」「知的財産権侵害訴訟における特許無効の抗弁に関する研究」「集合知と知的財産権」「TPP 条約と知的財産戦略」等
- 知財コンサル等の活動詳細は、知財ビジネスリンクのウェブサイト参照(<http://www.pabl.co.jp/>)。